

パレスチナ国
駐日パレスチナ常駐総代表部
ワリード・アリ・シラム大使に聞く

罪なき市民の犠牲をなくし 平和な暮らしを取り戻したい 編集部

敬称略 編集：編集部 大使：シラム大使

編集 ガザにおける被害状況を教えてくださいませんか

大使 2023年12月20日時点での死者数1万9667人のうち8000人が子供、6200人が女性、310人の医療関係者、35人が消防関係者等の防災関係者、そして98人のジャーナリストでした。そしておよそ7000人が行方不明で、そのうちの70%が子供・女性とみられています。負傷者数は5300人、さらに99人の医療従事者が拘束され、35万人の人々が寒さや飢え、そして伝染病によって健康を害しています。これがガザに住む人々の現状なのです。

編集 建物等の被害はいかがでしょう

大使 676の医療関係の建物が破壊され機能不全に陥り、126カ所の政府関係の建物が壊滅し、282あった大学を含む教育機関のうち30%の教育

機関が破壊され、320のモスクが全壊もしくは半壊の状態です。さらに3つの教会が壊滅しましたが、そのうちの1つは世界最古の教会といわれています。

一般の人が暮らしていたアパートを含む25万4000棟の住居が破壊されてしまい、102台の救急車が破壊され、140の医療機関が破壊されてしまいました。

編集 それでもまだ戦闘は続いていますね

大使 毎日3000人以上の死者が増え続けていますがその75%は女性と子供です。さらに180万人の市民が北部から南部に強制的に移動させられています。

編集 インフラの状況はどうでしょう

大使 上下水道は完全に破壊され、電気および電子関連施設も甚大な被害を受けインターネットやスマートフォン

がほとんど使えない状況です。ガザ地区のインフラのおよそ65%が壊滅状態にあり、文化的な市民生活はほとんど奪われてしまっています。

編集 あまりそのことを日本人は知りませんか

大使 10月7日以降、2万6700人ものパレスチナ人が亡くなっているのに、日本のニュースではなかなか取り上げられません。タクシーが1羽の鳩をひき殺しても大騒ぎになるのにです。

編集 そうした状況について、大使のお気持ちを聞かせください。

大使 正直なところ、様々な感情が入り乱れて言葉になりません。ガザで起きている抵抗運動に対する反感もありますが、イスラエル軍がガザで行っている大量虐殺や戦争犯罪を見ればいたたまれない気持ちにもなります。これまでパレスチナとの和平を標榜してきたイスラエルの高官たちの表情の中に、10月7日以降ある種の憎しみや嫌悪を隠さなくなっていると感じているのは、私だけではないと思います。ガザに住む人々を人間の皮をかぶった獣と称したり、ガザに原爆を落とせといった発言も聞こえてきますが、パ

レスチナ人も同じ人間なのです。政府関係者のみならず一般のイスラエル国民の方たちから、これほどまでの差別的な態度や発言があらさまに発せられることは許されざることはないでしょう。パレスチナも、イスラエルも、米国も、欧州も、アフリカも、アジアも、南米も、世界の人々は平等な権利を持ち、平和な暮らしを享受する権利を持っているはずなのです。

編集 パレスチナにはハマスのやり方に手を焼いているという面はあるのでしょうか

大使 ハマスというのは単なる一つの思想であり、ハマスのいう人たちが居るわけではありません。ハマ스에属しているのもエイリアンではなく同じパレスチナ人なのです。ただ彼らの考え方は、「宗教が政治を左右する」というもので、私たちとは違うものであることは確かです。現在138カ国に認められているパレスチナ政府の立場や目指すところが、イスラム教徒、キリスト教徒、ユダヤ教徒など様々な人々が平等に暮らしていきける世界である。これはご理解いただきたいと思っています。あらゆる人々にとって、パレスチナは開かれた場所であればならないとい

うのが基本姿勢です。

編集 パレスチナであっても、イスラエルであっても、世界中の人々が平和を願っているのにそれが叶わない理由は何だとお考えですか

大使 パレスチナの人々も人生を愛し、楽しく人生を過ごしたいと願っています。でもそれが叶わないのはイスラエルの軍事占領下にあるからではありませんか。これまでに1000を超えてる国連での決議があり、人権を尊重する様々な条約があるにもかかわらず、未だにパレスチナの人々は平和に暮らすことが許されないので。北朝鮮やロシアそしてイラクも国連の安保理決議に従わずに制裁を受けてましたがイスラエルはそうなりません。その大きな理由の一つが、パレスチナという国家が認められていないからではないでしょうか。

編集 ホロコーストという歴史がイスラエルに免罪符を与えている面はあるのでしょうか

大使 アラブ人も、イスラム教徒も、南米やアフリカの人たちも、そしてアジアの人たちもホロコーストには関与していません。ホロコーストは一部のキリスト教徒とヨーロッパが引き起こ

したことなのです。しかしそうして追われたユダヤの人々が、ただ平和に暮らしていたいパレスチナ人を駆逐してしまつたのです。シオニズムはユダヤ教を利用し、ナチズムはキリスト教を利用し、イスラミックスタートはイスラム教を利用しています。実際には彼らのやっついていることは宗教とは基本的に関係のない、急進的で人種差別的な行動ではないでしょうか。

編集 では、どうすれば名もなき市民が犠牲になることのない平和な世界が可能になるとお考えですか

大使 病気と同じように、現状起こっていることの原因を分析しなければ解決策は見えて来ないと思います。2009年に50以上のアラブの国々が集まり和平交渉に着手しました。その内容は、国境を1964年に決定された位置に戻し、東エルサレムを首都とするパレスチナという独立国家を認めるためにイスラエルと交渉することになりました。そのためにイスラエルの安全を保障することになったのですが、その結果が今の姿ではないでしょうか。そして現状のイスラエル政権が譲歩する気配はまったくありません。まずは原点に戻り、国連の安保理決議

を順守することから始めなければ平和な世界は実現できないと思います。

編集 そうした状況下で日本の政府に期待することは何でしょうか

大使 日本政府は1953年から国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)を支援してきてくれました。パレスチナ政府はこのことにとっても感謝し、高く評価しています。日本のおかげで教育やインフラが整備され、平和回廊についても大きなイニシアティブを発揮してくれています。日本は、パレスチナ、アラブ諸国、イスラム諸国にとつて良き友人なのです。そして日本は世界で起こっている様々な紛争について、常に中立な立場を貫いている指導的な立場の国です。これまでがそうであったように、これからも国連においても中立な立場を維持し、国際法を遵守し行使していただければと思います。そして即時停戦への働きかけをし、さらにすでに138カ国が承認しているパレスチナ国家の独立を認めていただければと思います。

編集 平和が訪れたら、日本人に見てほしいパレスチナの魅力を教えてください

大使 パレスチナには3つの海があり

ます。地中海、紅海、死海です。ジェリコという世界最古の街があります。イエスキリストの生誕地であるベツレヘムがあり、エルサレム、ベツレヘム、ジェリコ、ヘブロンなど、考古学的に重要な遺跡がたくさんあります。パレスチナでは1日に3つの気候を体験できます。高山の気候と、地中海の温暖な気候と、海拔マイナス700mの高温な気候です。そしてパレスチナ人はとても友好的な民族です。野菜は豊富で、フムス、ファラーフェル、マクルーバといった料理やクナーファというスイーツなど、様々な特徴的な料理が揃っています。

国連世界食糧計画(WFP)などは2023年12月21日、パレスチナ自治区ガザ地区のおよそ6人に1人が「壊滅的」な飢餓状態にあるとする報告書を発表した。WFPのマケイン事務局長は「安全かつ安定した支援がなければ状況は絶望的だ。ガザで飢餓から逃れられる人はいない」と警告している。

これがガザで起こっている悲劇なのだ。一刻も早い停戦と平和が訪れることを願って止まない。